

大野市ゼロカーボンシティ宣言について



市民と目指すべきゴールを共有し、**2050年までに二酸化炭素**の排出量実質**ゼロ**に挑戦します。

<目次>

- **ゼロカーボンシティについて**

全国の宣言状況/大野市ゼロカーボンシティ宣言/ゼロカーボンシティとは？

- **なぜ2050年？地球温暖化の現状**

地球温暖化のメカニズム/温室効果ガスとは？/地球温暖化は進行しているのか？/世界の平均気温の変化の予測/気候変動が与える影響/地球の限界/

- **2050年脱炭素社会の実現に向けて**

世界・国の動き/第三期大野市環境基本計画/大野市の取り組み/

全国の宣言状況 (2021.04.22現在)

2020年10月26日

菅総理大臣が、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体

2021年4月22日時点

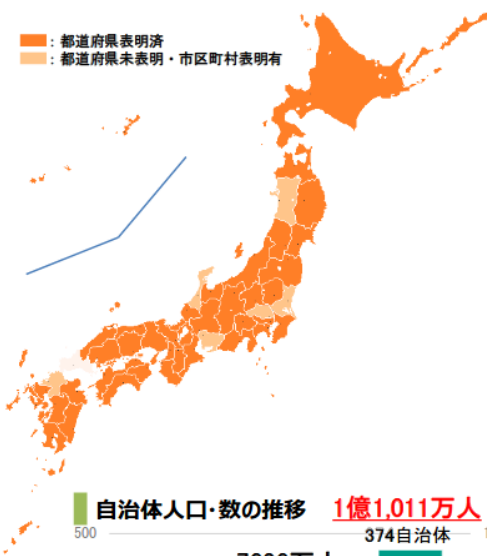


■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする374自治体 (40都道府県、218市、6特別区、91町、19村) が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。表明自治体総人口約1億1,011万人※。

※表明自治体総人口 (各地方公共団体の人口合計) では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

表明都道府県 (1億72万人)

■ 都道府県表明済
■ 都道府県未表明・市区町村表明有



表明市区町村 (5,527万人)

北海道	山形県	茨城県	埼玉県	神奈川県	福井県	長野県	愛知県	大阪府	鳥取県	香川県	熊本県
札幌市	米沢市	土浦市	さいたま市	横浜市	福井市	池田町	みよし市	東大阪市	南部町	高松市	熊本市
二子二町	山形市	古河市	所沢市	鎌倉市	大野市	小谷村	半田市	泉大津市	米子市	東かがわ市	宇土市
石狩市	鶴岡市	常陸市	深谷市	川崎市	山梨県	軽井沢町	岡崎市	大崎市	鳥取市	丸亀市	宇城市
稚内市	高島町	常陸市	小川町	開成町	青アルプス市	上科町	大府市	阪南市	境港市	美郷町	阿蘇市
釧路市	庄内町	高萩市	飯館市	三浦市	南箕輪村	南箕輪村	田原市	豊中市	日南町	松山市	合志市
厚岸町	飯盛町	北茨城市	狭山市	相模原市	笛吹市	佐久市	武豊町	吹田市	島根県	高知県	美郷町
喜茂別荘	南陽市	牛久市	入間市	横浜買市	上野原市	小幡市	大山市	高石市	松江市	四万十市	玉東町
鹿追町	川西町	鹿嶋市	日高市	藤沢市	中央市	東館市	浦都市	能勢町	高松町	沼毛町	大津町
羅白町	鶴岡市	鶴岡市	春日部市	厚木市	市川三郷町	松本市	三重県	河内長野市	美郷町	福岡県	菊池町
富良野市	福島県	守谷市	久留市	妻野市	富士川町	上田市	志摩市	岡山市	岡山県	大木町	高松町
当別町	郡山市	津島市	千代田市	野田市	山梨県	昭和町	高森町	伊那市	八戸市	福岡市	西原村
岩手県	大館町	那珂市	山梨市	野田町	茅ヶ崎市	北杜市	伊那市	伊那市	和泉市	岡山市	南阿蘇村
久慈市	浪江町	筑西市	野田市	野田町	泰川町	甲府市	飯田市	多気町	兵庫県	津山市	久留米市
二戸市	福島市	坂東市	我孫子市	真鶴町	富士吉田市	岐阜県	明和町	明石市	明石市	玉野市	大野城市
葛巻町	広野町	柳川市	浦安市	柳川市	大野市	大塚市	神戸市	神戸市	神戸市	津波市	綾手町
曾代村	楡葉町	つくばみらい市	四街道市	新潟県	山梨市	郡上市	大紀町	西宮市	備前市	長崎県	甲佐町
程米町	本宮市	小美玉市	千歳市	佐渡市	大月市	羽島市	紀北町	姫路市	瀬戸内市	平戸市	山部町
野田村	栃木県	茨城県	成田市	茨城県	加西市	中津川市	度会町	加西市	瀬戸内市	五島市	荒尾市
九戸村	那須塩原市	城里町	八千代市	妙高市	甲州市	静岡県	道真県	豊岡市	和泉町	長崎県	大分県
洋野町	大田原市	東海村	木更津市	十日町市	早川町	御殿場市	湖南市	奈良県	早島町	長与町	大分市
一戸町	那須南山市	那須南山市	五箇町	新潟市	身延町	浜松市	京都府	京都府	久米南町	時津町	宮崎県
八幡平市	那須町	那須町	那須町	船橋市	船橋市	津島市	静岡市	静岡市	美郷町	佐賀県	唐津市
宮古市	那珂川町	那珂川町	那珂川町	取手市	東京部	津南町	道志町	牧之原市	与野野町	武雄市	鹿兒島県
一関市	那珂市	那珂市	那珂市	下妻市	葛飾区	富山県	富山町	富士吉田市	宮澤市	和歌山県	鹿兒島市
紫波町	群馬県	ひたちなか市	立間市	多摩市	多摩市	魚津市	魚津市	御前崎市	大山崎町	那覇県	知念町
宮城県	太田市	立間市	世田谷区	世田谷区	世田谷区	武蔵野市	武蔵野市	石川県	足立区	加賀市	指宿市
筑前県	藤岡市	神流町	武蔵野市	武蔵野市	武蔵野市	立山町	立山町	足立区	加賀市	金沢市	指宿市
富谷市	富谷市	みながみ町	武蔵野市	武蔵野市	武蔵野市	富山県	富山県	足立区	加賀市	金沢市	指宿市
美里町	仙台市	大泉町	武蔵野市	武蔵野市	武蔵野市	富山県	富山県	足立区	加賀市	金沢市	指宿市
仙台市	大泉町	大泉町	武蔵野市	武蔵野市	武蔵野市	富山県	富山県	足立区	加賀市	金沢市	指宿市
大崎市	上野村	千代田町	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市	前橋市
大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市	大津市

出展: 環境省HP

* 朱書きは表明都道府県、その他の色書きはそれぞれ共同表明団体

大野市ゼロカーボンシティ宣言

大野市ゼロカーボンシティ宣言



近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発し、まさに「気候危機」というべき状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が公表した特別報告書において、この目標を達成するためには、2050年頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要との見解が示されています。

こうした中、昨年10月に内閣総理大臣が「2050年に脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

大野市においても、本年3月に策定した「第三期大野市環境基本計画」に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。

日本百名山の荒島岳をはじめとする緑豊かな山々や、大野盆地を潤す清らかな九頭竜川水系、市民の誇りである湧水地と地下水、日本一にも選ばれた美しい星空など、大野市には豊かな自然が残されています。

このかけがえのない自然環境を、私たちの将来の世代に引き継いでいくためにも、全世界が挑む気候変動という難題に対し、市民や事業者の皆さんと目指すべきゴールを共有して一体となって取り組んでいかなければなりません。

大野市は、2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言します。



令和3年3月25日

大野市長 石山志保

宣言日 令和3年3月25日
全国 342番目
県内 4番目



福井県大野市長 石山 志保 殿

貴市におかれましては、この度、自治体として2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指されることを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で342自治体となりました。我が国としてのパリ協定の目標達成に向け、大変心強く感じております。

先日、国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、このような水害等の更なる頻発・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されました。この目標の達成に向けては、各国政府関係者の努力はもとより、地方自治体を始めとしたあらゆる主体、ノン・ステート・アクターの取組が極めて重要です。

環境大臣として、スペイン・マドリッドで開催されたCOP25で発信し、国際的にも高く評価されたところです。こうした日本国内の力強い取組をしっかりと発信するとともに、パリ協定の目標達成に向け、貴市及び他のゼロカーボンシティとともに取組のさらなる具体化に努めてまいります。

環境大臣 小永進

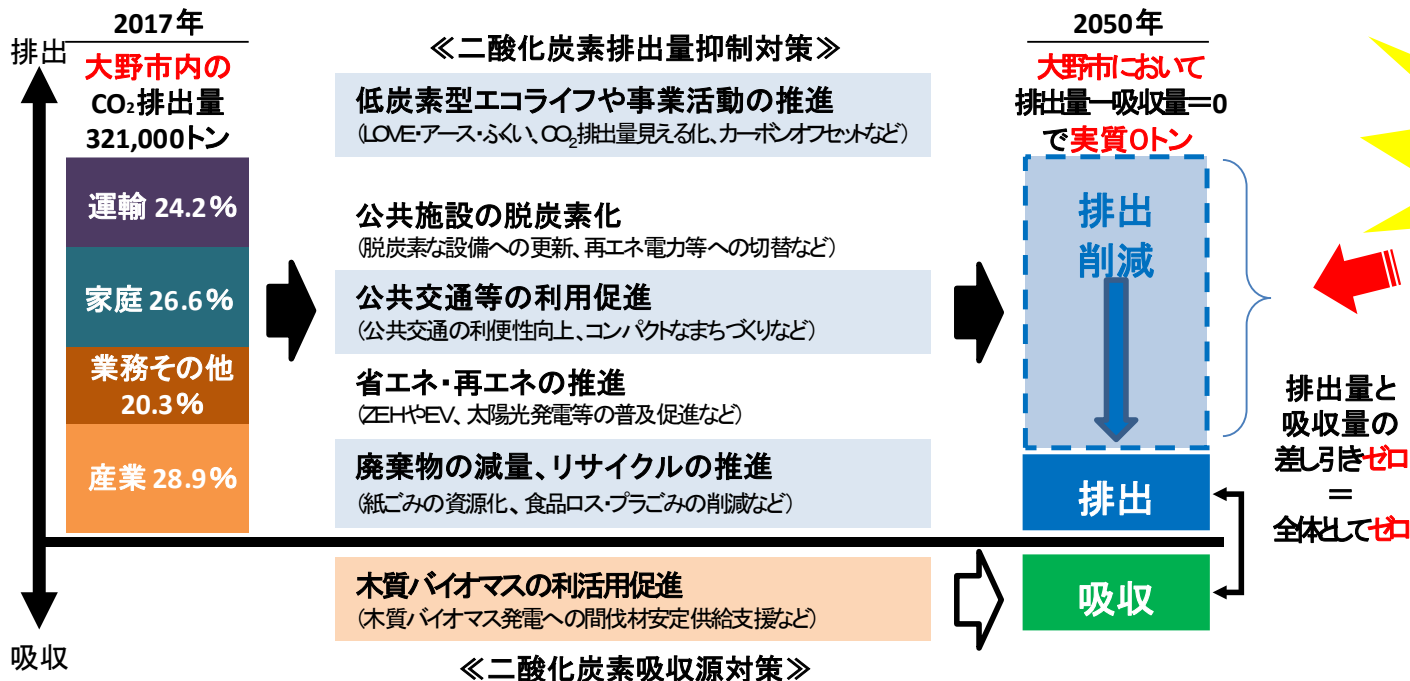
ゼロカーボンシティとは？

ゼロカーボンシティとは？

脱炭素社会にむけて、**2050年**までに、**二酸化炭素（CO₂）実質排出量ゼロ**に取り組むことを表明した地方公共団体のこと

二酸化炭素実質排出量ゼロとは？

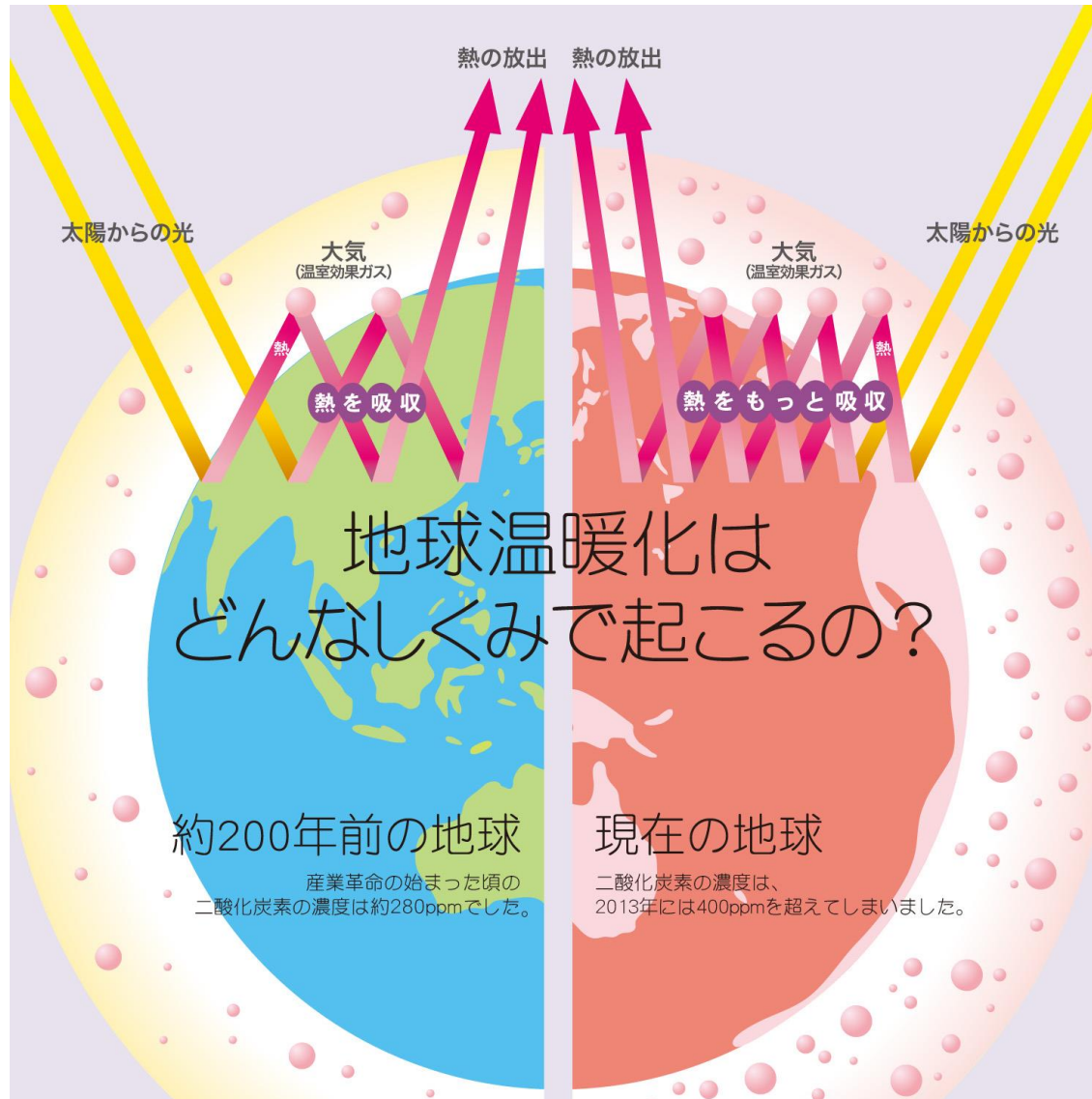
工場や家庭、自動車などを発生源とする二酸化炭素（CO₂）の**排出量**と、森林などによる**吸収量**を差し引いた**合計をゼロ**にすること。



大幅削減が大前提!!

なぜ2050年？地球温暖化の現状

地球温暖化のメカニズム



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<https://www.jccca.org/>) より

なぜ2050年？地球温暖化の現状

温室効果ガスとは？

温室効果ガスの特徴

国連気候変動枠組条約と京都議定書で取り扱われる温室効果ガス

温室効果ガス	地球温暖化係数*	性質	用途・排出源
CO₂ 二酸化炭素	1	代表的な温室効果ガス。	化石燃料の燃焼など。
CH₄ メタン	25	天然ガスの主成分で、常温で気体。よく燃える。	稲作、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなど。
N₂O 一酸化二窒素	298	数ある窒素酸化物の中で最も安定した物質。他の窒素酸化物（例えば二酸化窒素）などのような害はない。	燃料の燃焼、工業プロセスなど。
HFCs ハイドロフルオロカーボン類	1,430など	塩素がなく、オゾン層を破壊しないフロン。強力な温室効果ガス。	スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセス、建物の断熱材など。
PFCs パールオロカーボン類	7,390など	炭素とフッ素だけからなるフロン。強力な温室効果ガス。	半導体の製造プロセスなど。
SF₆ 六フッ化硫黄	22,800	硫黄の六フッ化物。強力な温室効果ガス。	電気の絶縁体など。
NF₃ 三フッ化窒素	17,200	窒素とフッ素からなる無機化合物。強力な温室効果ガス。	半導体の製造プロセスなど。

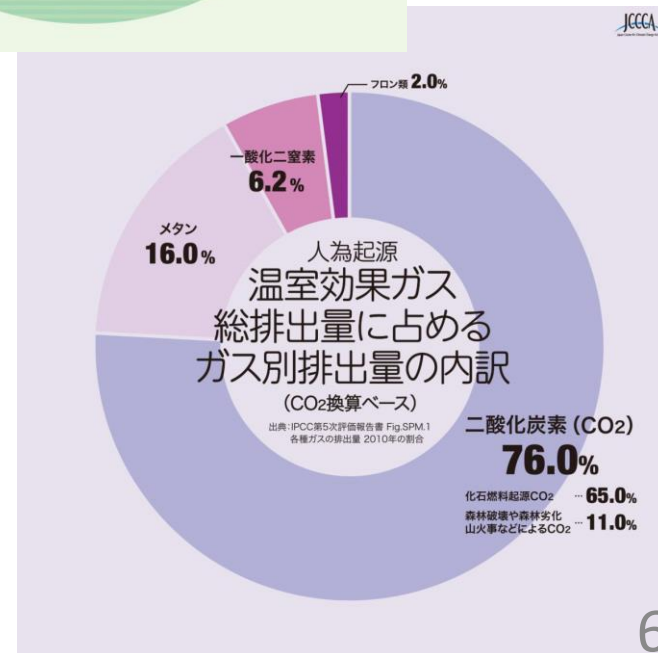
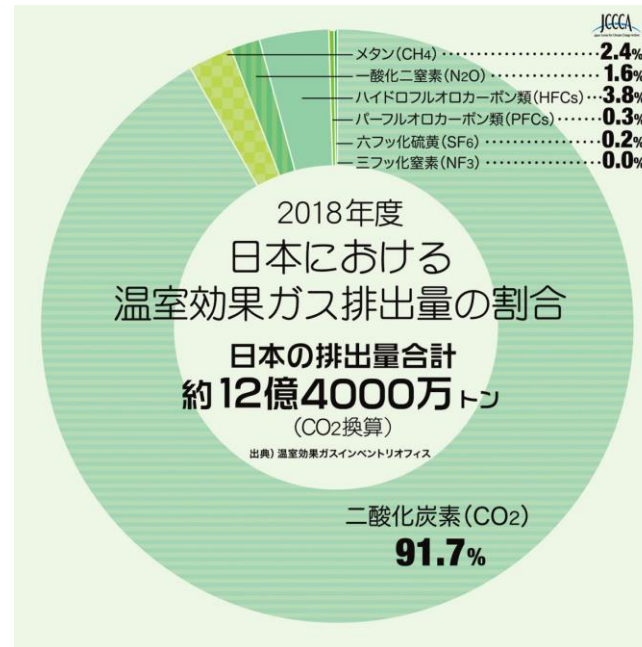
※京都議定書第二約束期間における値

参考文献: 3R・低炭素社会検定公式テキスト第2版、温室効果ガスインベントリオフィス

出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

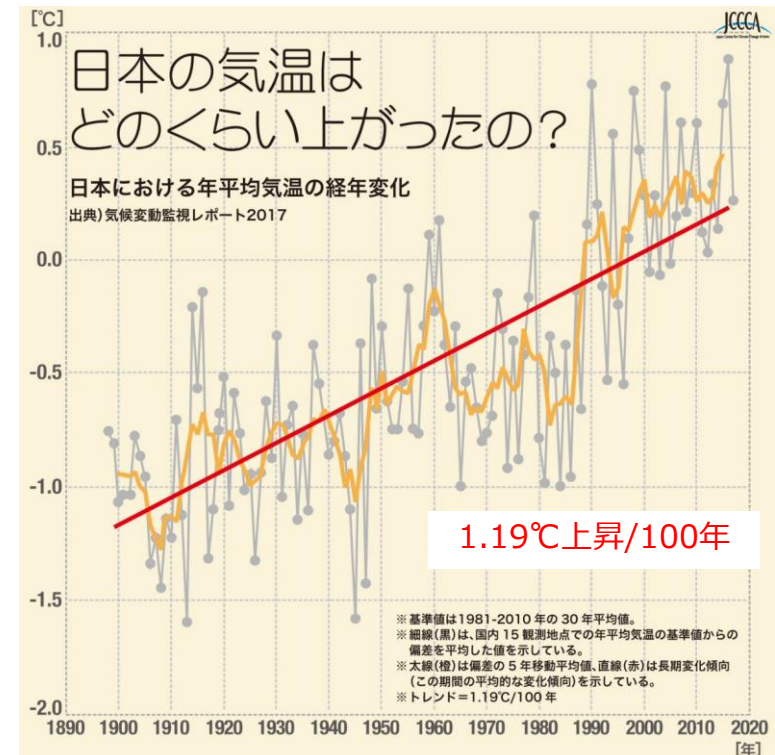
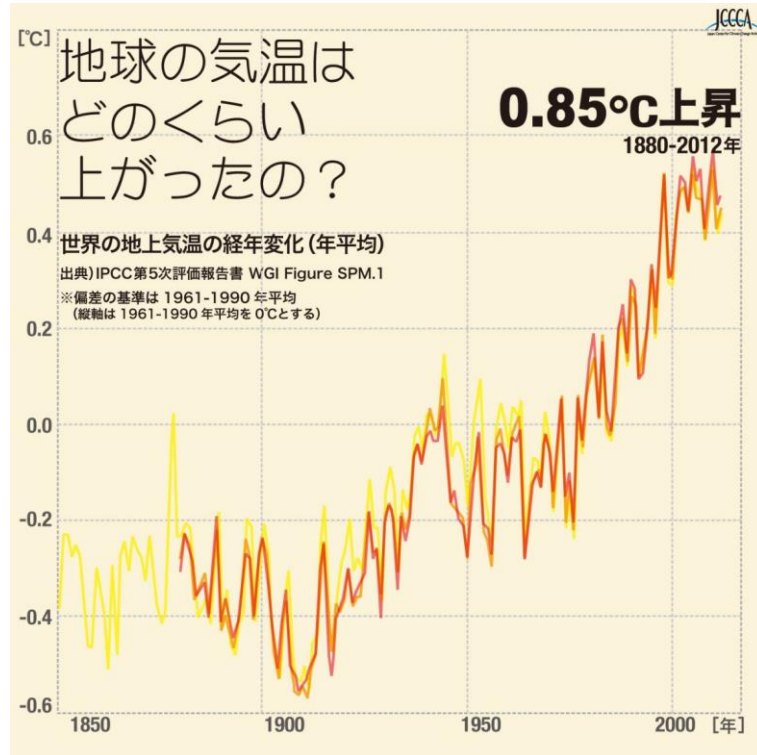
日本の場合、温室効果ガスの中で二酸化炭素の比率が 約91%と極めて高い。

※世界全体でも約76%がCO₂



なぜ2050年？地球温暖化の現状

地球温暖化は進行しているのか？（世界・日本の気温の推移）



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

地球温暖化は、**人間活動**の影響が**主な要因**である可能性が極めて高い（**95%**の可能性）

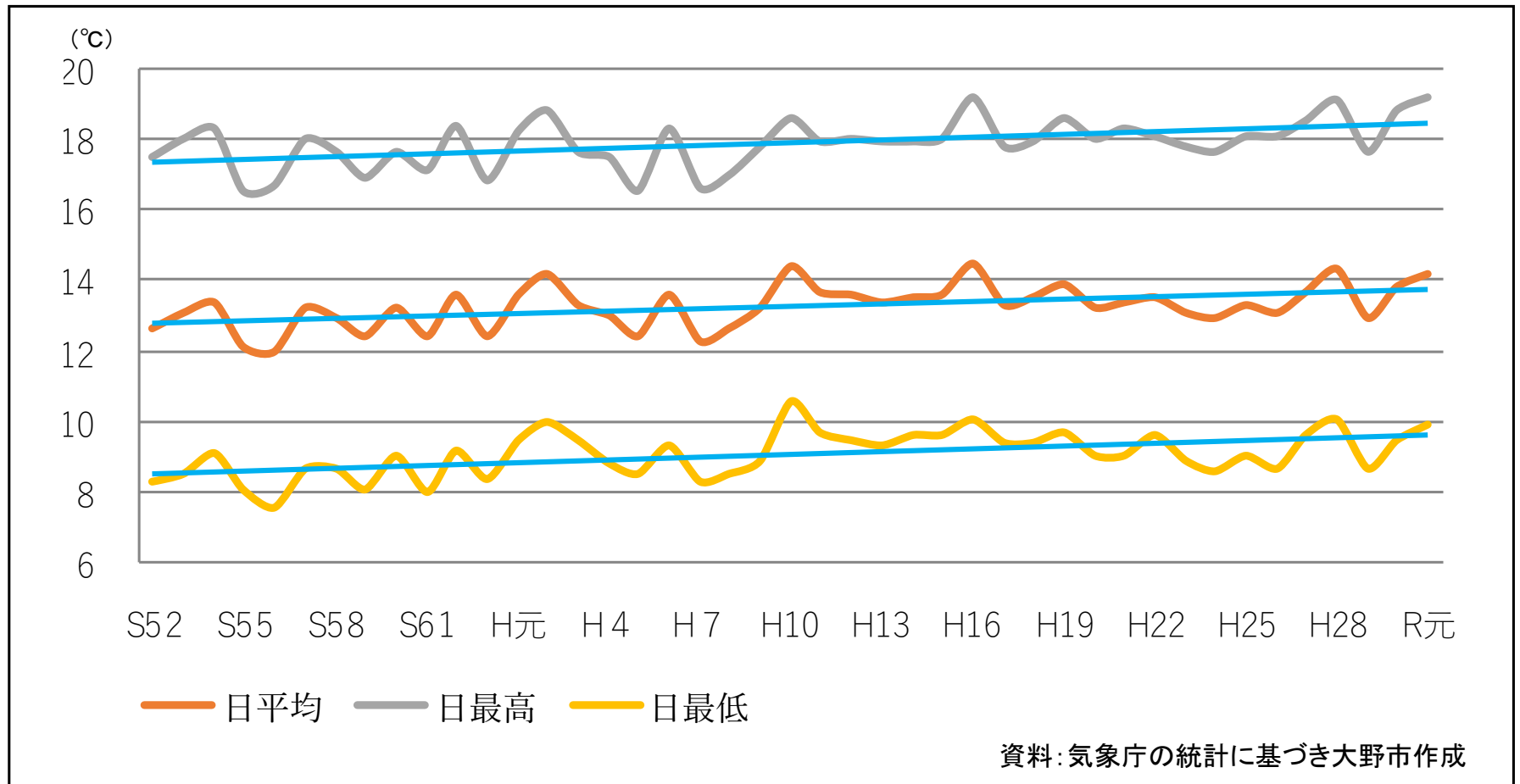
◆人間活動の影響とは？

化石燃料を燃やしたり、森林等を伐採することで「温室効果ガス」が増えてしまっていること

なぜ2050年？地球温暖化の現状

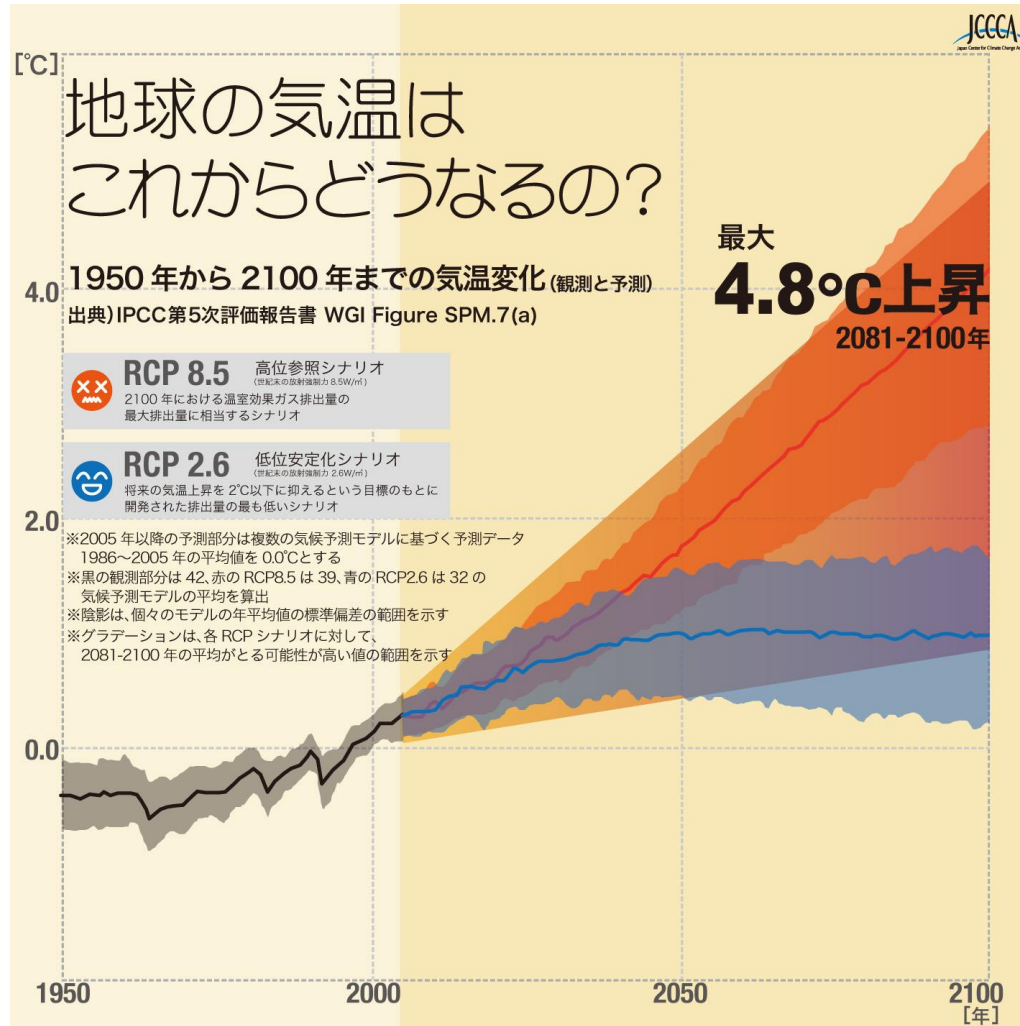
地球温暖化は進行しているのか？（大野市の気温の推移）

平均気温・最高気温・最低気温のいずれも**上昇傾向**にある。



なぜ2050年？地球温暖化の現状

世界の平均気温の変化の予測



有効な気候変動対策が
取られない場合

2.6~4.8°C上昇する
可能性が高い

非常に多くの気候変動対策
が取られた場合でも・・・

0.3~1.7°C上昇する
可能性が高い

出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

なぜ2050年？地球温暖化の現状

気候変動が与える影響

日本への影響は？

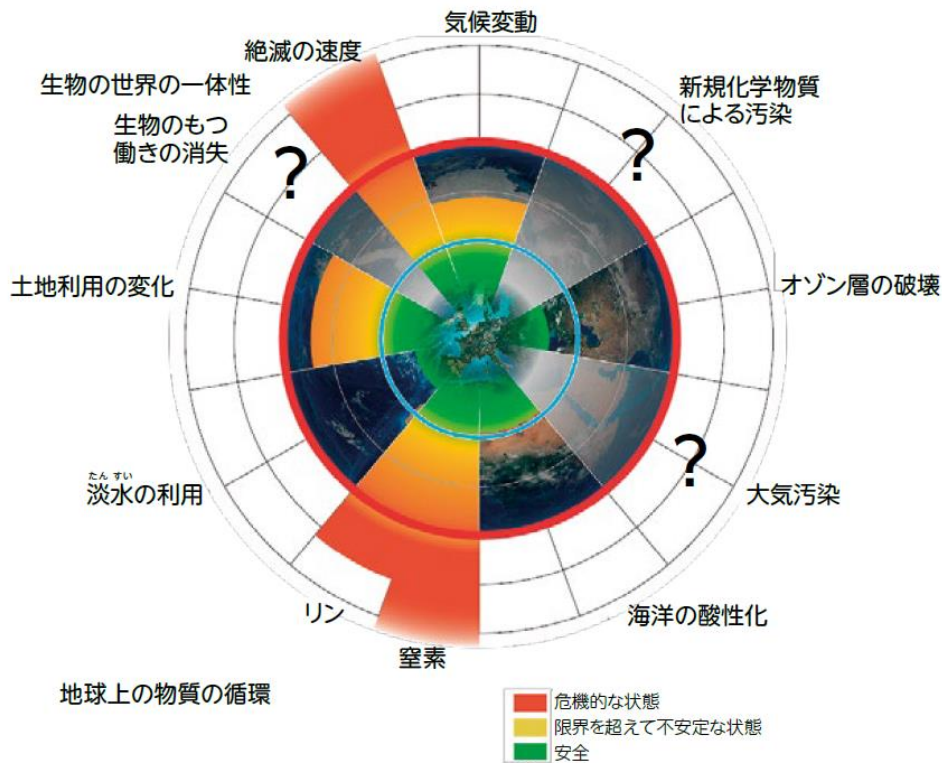
2100年末に予測される日本への影響予測
(温室効果ガス濃度上昇の最悪ケース RCP8.5、1981-2000年との比較)

気温	気温	3.5~6.4℃上昇
	降水量	9~16%増加
	海面	60~63cm 上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	83~85%消失
	干渴	12%消失
水資源	河川流量	1.1~1.2 倍に増加
	水質	クロロフィルaの増加による水質悪化
生態系	ハイマツ	生育可能な地域の消失~現在の7%に減少
	フナ	生育可能な地域が現在の10~53%に減少
食糧	コメ	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん	作付適地がなくなる
	タンカン	作付適地が国土の1%から13~34%に増加
健康	熱中症	死者、救急搬送者数が2倍以上に増加
	ヒトスジシマカ	分布域が国土の約4割から75~96%に拡大

出典：環境省環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書

出典) 温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

地球の限界 (プラネタリー・バウンダリー)



資料：Will Steffen et al. (2015) 「Guiding human development on a changing planet」

出典) こども環境白書 (2019) / 環境省より

現在人類が地球システムに与えている圧力は**飽和状態**に達しており、気候、水環境、生態系本来持つレジリエンス (回復力) の限界を超えると、**不可逆的变化**が起こりうる。

気候変動対策は、地球の限界が来る前に、早急に取り組むべき喫緊の課題!!

2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（2015年12月 パリ協定が採択（COP21））

- 地球温暖化に関する国際的な約束事
- すべての国が参加する公平な合意
- 19世紀後半の産業革命からの世界全体の平均気温の上昇を、**2℃以下**に
- 今世紀後半（2050年）**には**人間活動による**温室効果ガスの排出を吸収と等しくし、**実質ゼロ**に

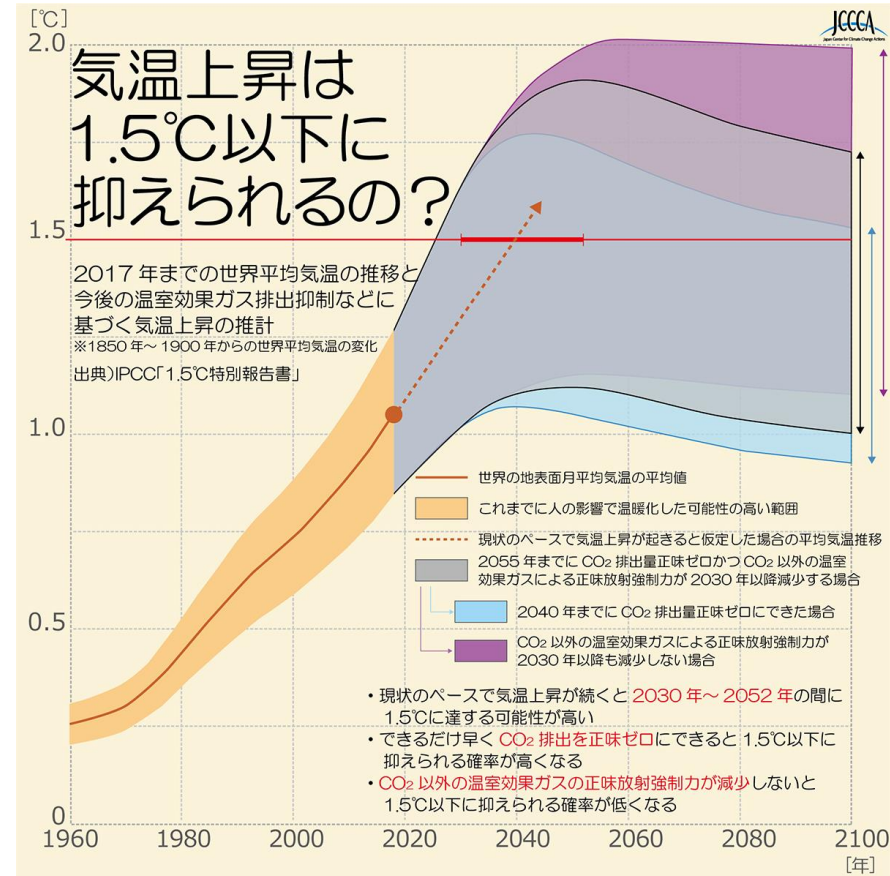


脱炭素化が世界的な潮流に

	中期目標	長期目標
日本	2030年度までに 26%削減 （2013年度比）	2050年カーボンニュートラル （臨時国会における菅総理の所信表明演説）
EU	2030年少なくとも▲55% （1990年比） ※欧州理事会（12月10・11日）合意 ※2013年比▲44%相当	2050年カーボンニュートラル ※複数の前提を置いた8つのシナリオを分析
英国	2030年までに少なくとも▲68% （1990年比） ※2013年比▲55.2%相当	2050年少なくとも▲100% （1990年比） ※一定の前提を置いた3つのシナリオを提示
米国	パリ協定離脱 → バイデン次期大統領は2050年までの GHG排出実質ゼロ を表明	
中国	2030年までに排出量を削減に転じさせる 、 GDPあたりCO ₂ 排出量を2005年比65%超削減 （前者は今年の国連総会、後者は気候野心サミット2020で習主席が表明）	2060年カーボンニュートラル （今年の国連総会で習主席が表明）

出典）環境省HP資料より

IPCC「1.5℃特別報告書」(2018)



出典）温室効果ガスインベントリオフィス/
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>) より

2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（日本のこれまでの関係計画等）

- ◆長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）
 - ・2030年度の電力需給創造 **再生可能エネルギーは22~24%**
- ◆地球温暖化対策計画（2016）
 - ・温室効果ガス削減目標 **2030年度に2013年度比で▲26%** →
- ◆第五次環境基本計画（2018）
 - ・環境政策による経済・社会的課題の「同時解決」による新たな成長
 - ・地域資源を生かし、自立・分散型の社会を形成し、かつ、地域の特性に応じて資源を 補完し、支え合う「**地域循環共生圏**」
- ◆第5次エネルギー基本計画策定（2018）
- ◆気候変動適応計画（2018）
- ◆第四次循環型社会形成推進基本計画（2018）
- ◆パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（2019）
 - ・「**環境と成長の好循環**」の実現
- ◆プラスチック資源循環戦略（2019）
 - ・ **3 R + Renewable（再生可能資源への代替）**
- ◆国・地方脱炭素実現会議（2020-2021）
 - ・ **2050年地方脱炭素社会実現に向けたロードマップ策定**
 - ・ 地方脱炭素を実現するための関係府省・自治体等の連携の在り方検討

R3.4.22
米主催気候サミット
▲46%目指す!!



2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（国・地方脱炭素実現会議）

地域脱炭素ロードマップのイメージ

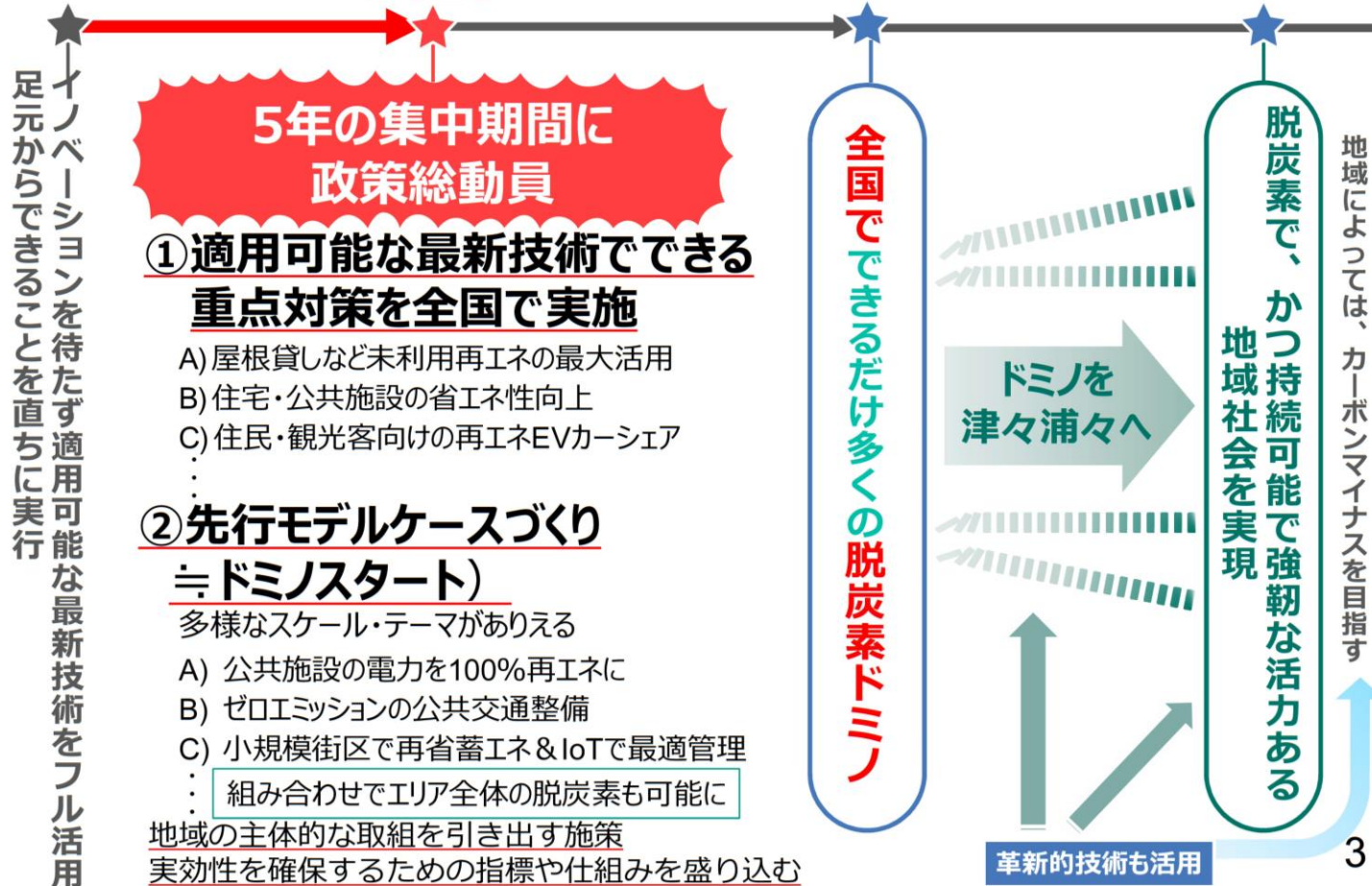


2020

2025

2030

2050



足元からできることを直ちに実行
イノベーションを待たず適用可能な最新技術をフル活用

5年の集中期間に政策総動員

① 適用可能な最新技術でできる重点対策を全国で実施

- A) 屋根貸しなど未利用再エネの最大活用
- B) 住宅・公共施設の省エネ性向上
- C) 住民・観光客向けの再エネEVカーシェア

**② 先行モデルケースづくり
≡ドミノスタート)**

- 多様なスケール・テーマがありえる
- A) 公共施設の電力を100%再エネに
 - B) ゼロエミッションの公共交通整備
 - C) 小規模街区で再省蓄エネ&IoTで最適管理
- 組み合わせでエリア全体の脱炭素も可能に

地域の主体的な取組を引き出す施策
実効性を確保するための指標や仕組みを盛り込む

全国でできるだけ多くの脱炭素ドミノ

ドミノを津々浦々へ

脱炭素で、かつ持続可能で強靱な活力ある地域社会を実現

地域によっては、カーボンマイナスを目指す

革新的技術も活用

3

各出典：環境省資料

2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（国・地域脱炭素ロードマップ（骨子）①）

地域脱炭素ロードマップ 対策・施策の全体像

2030年までに脱炭素を実現する先行地域を100カ所以上創出。
併せて、全国で重点対策を実施し、2050年脱炭素実現に貢献。

1) 先行して脱炭素を実現する地域をつくる

- 少なくとも**100カ所の脱炭素先行地域**で、2025年度までに脱炭素実現の道筋をつけ、**2030年度までに脱炭素を達成。**

※「脱炭素」は、民生部門（家庭や業務ビル等）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ

- 農山漁村、離島、都市部の街区など多様な脱炭素の姿を示し、各地に広げる。

2) 全国で、脱炭素の基盤となる重点対策を実施（各地の創意工夫を横展開）

- ✓ **屋根置き等の太陽光**で地産地消 例：島田市等 小中学校にオンサイトPPAで太陽光発電し、災害拠点に
- ✓ **省エネ住宅**の普及拡大 例：鳥取県等 健康省エネ住宅NE-ST（基準設定し事業者認定）
- ✓ EV/FCV等の**電動車**の利用拡大 例：100以上の自治体 自動車メーカーとの防災協定による電動車活用
- ✓ 飲食店と連携した**食品廃棄**対策 例：京都市等 食ロス半減目標・食品販売期限の延長

3つの
具体策

① 地域の実施体制と国の積極支援のメカニズム構築

② 「見える化」によるライフスタイルイノベーション

③ 制度的アプローチ（ルールのイノベーション）

各出典：環境省資料

2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（国・地域脱炭素ロードマップ（骨子）②）

脱炭素先行地域の考え方と基本的な要件・定義と類型（1）

1. 基本的な要件・定義

- **民生部門（家庭・業務ビル等）の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロ**
 - ① 先行地域の所在する市町村区域内の**再エネポテンシャルを最大限活用**して導入し、先行**地域内で消費**（域外へも融通し収益を地域内に再投資）
 - ② **新築の住宅はZEHを、新築の公共施設や業務ビルはZEBを標準とする**
 - ③ 上記①・②を行いつつ、電力需要に対し不足する分は、域内外の排出ゼロの電気を融通することで、全体として脱炭素を実現
- これに加えて、地域特性に応じて運輸部門や熱利用等も含めてできるだけCO₂削減
 - ✓ **ゼロカーボン・ドライブ**の普及（地域内で導入される**自家用車・公用車はできるだけ電動車**（EV/PHEV/FCV）とし、再エネ電気やクリーン燃料で走らせる）。
 - ✓ 熱需要と合わせる形で**再エネ熱等（地中熱やバイオマス、下水熱等）**も利用
 - ✓ **地域マイクログリッド・自営線・熱導管**の導入による地産地消とレジリエンスの向上
 - ✓ **資源循環の取組**（プラ回収ルート整備、食品廃棄ゼロ、ごみ有料化）
 - ✓ 廃棄物処理施設や下水道処理施設等の公共インフラにおける創エネ

※エネルギーマネジメントシステムやブロックチェーン技術も活用して、できるだけ需給一体型で、費用効率的に脱炭素を実現するとともに、成果を確認・記録できる方法を追求する。

2050年脱炭素社会の実現に向けて

世界・国の動き（国・地域脱炭素ロードマップ（骨子）③）

具体策② 「見える化」によるライフスタイルイノベーション

国民の皆様が脱炭素行動に動き出していただくため、①「見える化」やナッジによる日常化、②ポイント等のメリットづくり、③身近なアンバサダーの率先行動により、ライフスタイルイノベーションを起こす

CO₂削減ポイントやナッジの普及拡大

◀◀◀ 後押ししてきっかけを作ります

- 企業の発行ポイントについて、脱炭素な製品やサービスの利用へのポイント上乘せなど
- 地域のCO₂削減ポイント（環境配慮行動にポイントを付け、地域で使える仕組み）
- ナッジを活用し、日常シーンの中に、省エネ・公共交通利用・環境配慮製品の選択をそと後押し
- 地域再エネを購入する都市住民に対して、地域産品を返礼品で送るなどの絆づくり

脱炭素アンバサダーの率先行動

◀◀◀ 何をすればいいか、伝えます

- 影響力ある脱炭素アンバサダーが率先行動
 - ✓ ゼロカーボンエネルギー（再エネ電気スイッチ）
 - ✓ おうち快適（住居の断熱性・気密性を向上）
 - ✓ ゼロカーボン・ドライブ（再エネ×EV/PHEV/FCV）
 - ✓ サステナブルファッション

CO₂排出の見える化

◀◀◀ モノやサービスの脱炭素度合いを見せます

- 製品・サービスのCO₂排出量の見える化の環境整備
（参考例）食品のカロリー表示。
- SDGs度合いも見える化（例：再エネ電気の産地、住宅建築物（ZEH/ZEB）の木材利用度合い）
- ICタグや電子レシートも活用。

2050年脱炭素社会の実現に向けて

【2021 - 2030】第三期大野市環境基本計画（基本目標）

環境像「水循環共生都市 越前おおの」の実現を目指して

国際的、全国的な取組等

持続可能な開発目標（SDGs）
地球温暖化対策（**ゼロカーボン**）
海洋プラスチック問題
地域循環共生圏の実現

福井県の取組等

福井県環境基本計画（2018）
福井県長期ビジョン（2020）

2050年までに**ゼロカーボン**を目指す

市の変化

人口減少、少子化、高齢化の進展
中縦、新幹線、重点道の駅「荒島の郷」

第六次大野市総合計画



「暮らし環境分野」

豊かな自然の中で快適に暮らせるまち

第二期計画の検証

大気、水など環境基準はおおむね良好
生活様式の変化や自然環境の変容に

より「大野の自然」に触れ合う機会が減少
市民1人1日当たりのごみ排出量が増加傾向

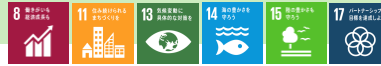
アンケート結果

関心の高い環境問題（地下水関連、ごみ問題、地球温暖化）

第三期計画の基本目標

①自然との共生社会の形成

先人から受け継がれてきた豊かな自然を、市民一人一人の力によって次世代へと守り伝えるとともに、その恵みを地域の発展に活用するなど、自然と経済活動の調和のとれた社会を目指します。



②低炭素社会の実現

脱炭素社会（ゼロカーボン）を見据え、省エネルギーの取り組みや再生可能エネルギーの利用などにより、低炭素型のエコライフや事業活動が定着した社会を目指します。



③資源循環型社会の構築

3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再利用）活動を通じて廃棄物の減量化と資源化に取り組む**資源循環型**の社会を目指します。



④快適な生活環境の保全

大気・水・土壌などを良好な状態に保ちつつ、歴史的、文化的遺産や自然景観に囲まれた、安全・安心で快適に暮らせる生活環境を目指します。



⑤総合的な取り組みの推進

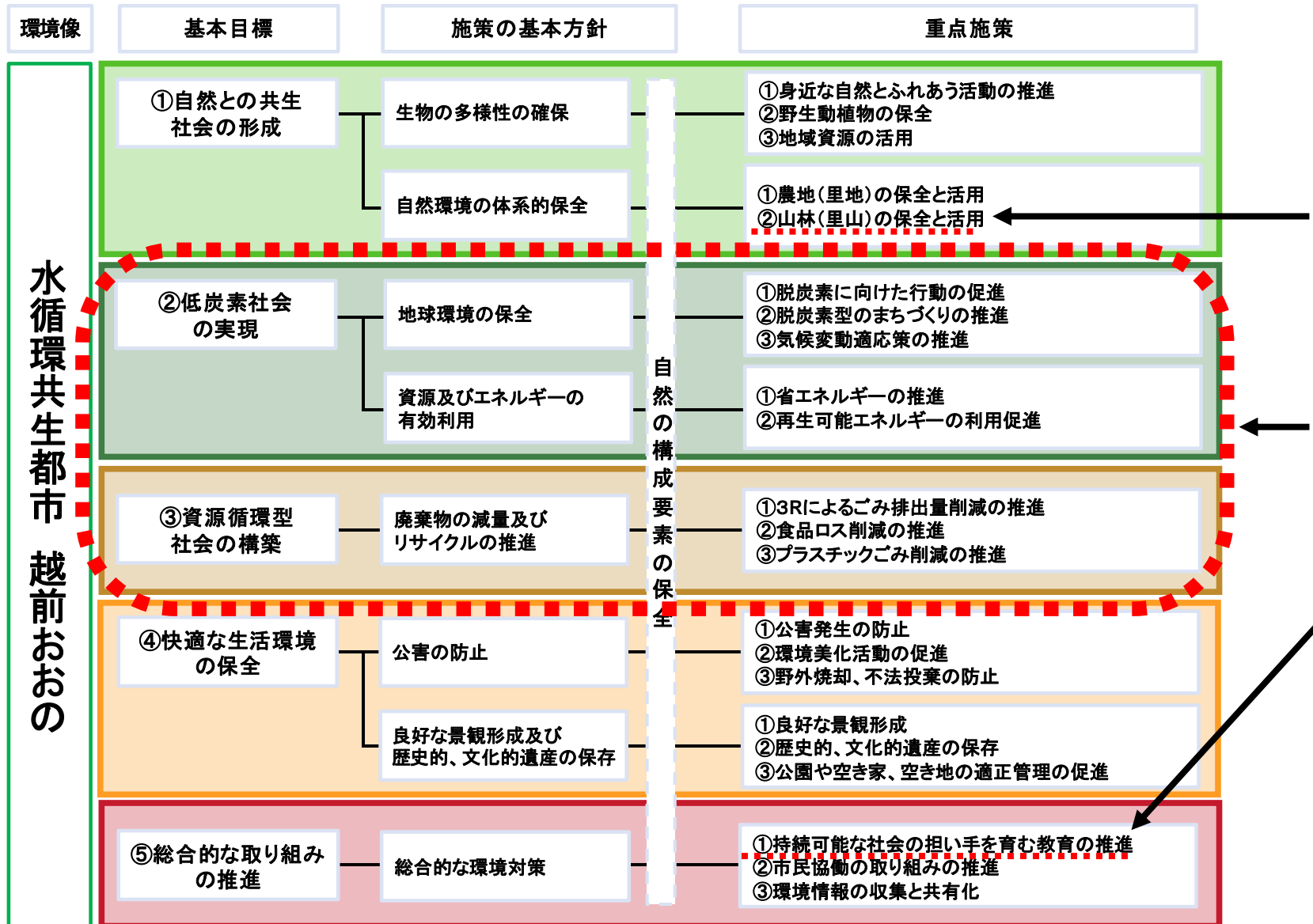
持続可能な社会の担い手を育む教育や、市民協働による地域の特性を生かした環境学習や自然環境保全の取り組みを推進するとともに、環境に関する情報の収集と共有化を推進します。



意識改革は進んでいる⇒次のステップは各主体の**具体的行動の実行**

2050年脱炭素社会の実現に向けて

【2021 - 2030】第三期大野市環境基本計画（施策の体系）



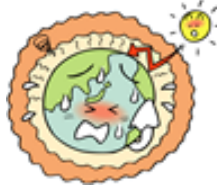
2050年脱炭素社会の実現に向けて

【2021－2030】第三期大野市環境基本計画（②低炭素社会の実現）

《地球環境の保全》

重点施策① 脱炭素に向けた行動の促進

「LOVE・アース・ふくい」等の推進／低炭素型エコライフ・事業活動の普及啓発／CO₂等排出量の見える化／事業者と連携した省エネ家電等買替促進／カーボンオフセットの普及啓発 など



重点施策② 脱炭素型のまちづくりの推進

公共施設の脱炭素化(脱炭素な設備更新、再エネ電力へ切替検討、防犯灯等LED化、電気自動車等導入)／公共交通の利便性向上と利用促進／コンパクトなまちづくり／自転車活用 など

重点施策③ 気候変動適応策の推進

科学的な知見の収集と適応策の啓発／健全な水循環の維持に必要な適応策の検討／農業分野における適応策の推進／熱中症対応方法等の周知／災害廃棄物の適正処理に備えた取り組み など



市民・事業者の取り組み

- ◆節電に心がけます。
- ◆エコドライブに心がけよう。
- ◆省エネの家電や設備への買替に取り組もう。
- ◆公共交通機関を積極的に利用しよう。
- ◆太陽光発電や電気自動車を導入しよう。

《資源及びエネルギーの有効利用》

重点施策① 省エネルギーの推進

ZEH・ZEB普及促進／省エネ性能周知制度の普及啓発／市内の多量CO₂等排出事業所の把握／中小企業の省エネ設備転換促進／電気自動車等の普及拡大／急速充電設備の追加設置検討 など

重点施策② 再生可能エネルギーの利用促進

再エネ(太陽光等)の導入促進／周囲環境等と調和のとれた再生エネの利用促進／防災力の強化につながる再エネ設備(太陽光発電・蓄電池等)の導入検討／間伐材の活用促進支援／森林保全整備による温室効果ガスの吸収源対策 など



数値目標	R元年度 ※H29年度	R12年度
大野市内のCO ₂ 排出量	※321 千t-CO ₂	231千 t-CO ₂ 以下
市役所のエネルギー使用量(原油換算)	4,554kl	4,326kl 以下
ゼロカーボン公共施設数	0施設	5施設
木質バイオマス発電に活用した間伐材量	7,595 m ³	8,355 m ³

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



2050年脱炭素社会の実現に向けて

【2021－2030】第三期大野市環境基本計画（③資源循環型社会の構築）

③ 資源循環型社会の構築

〈廃棄物の減量及びリサイクルの推進〉

重点施策① 3Rによるごみ排出量削減の推進

ごみ排出量削減啓発学習会の開催／市行政事務のデジタル化・ペーパレス化／「まちの修理屋さん」の普及／紙ごみ分別の徹底／官民協働によるリサイクルの推進 など

重点施策② 食品ロス削減の推進

食品ロス削減啓発学習会の開催／消費者教育市民団体等との連携／「おいしいふくい食べきり運動」の普及／フードドライブの推進 など

重点施策③ プラスチックごみ削減の推進

海洋プラスチック問題等に関する学習会の開催／マイバッグ、マイボトル等の利用促進／プラスチックごみの分別回収方法の検討／再生材・バイオプラスチックの利用促進・市の率先購入 など



市民・事業者の取り組み

- ◆ごみ減量化と適正な分別に協力します。
- ◆地域の資源回収活動などに積極的に参加しよう。
- ◆菓子箱など「雑がみ」は、資源ごみに分別します。
- ◆「おいしいふくい食べきり運動」に協力しよう。
- ◆マイバッグ・マイボトル運動に参加しよう。

数値目標	R元年度	R12年度
市民1人1日当たりのごみ排出量	950 g	919g
ごみの資源化率	21.9%	31.0%
食品ロスの発生量	898.5t	627.2t



2050年脱炭素社会の実現に向けて

大野市の取り組み（これまでの取り組み）

ごみ処理エネルギー等の有効利用（H18～）

◆ビュークリーンおくえつ（大野・勝山地区広域行政事務組合）

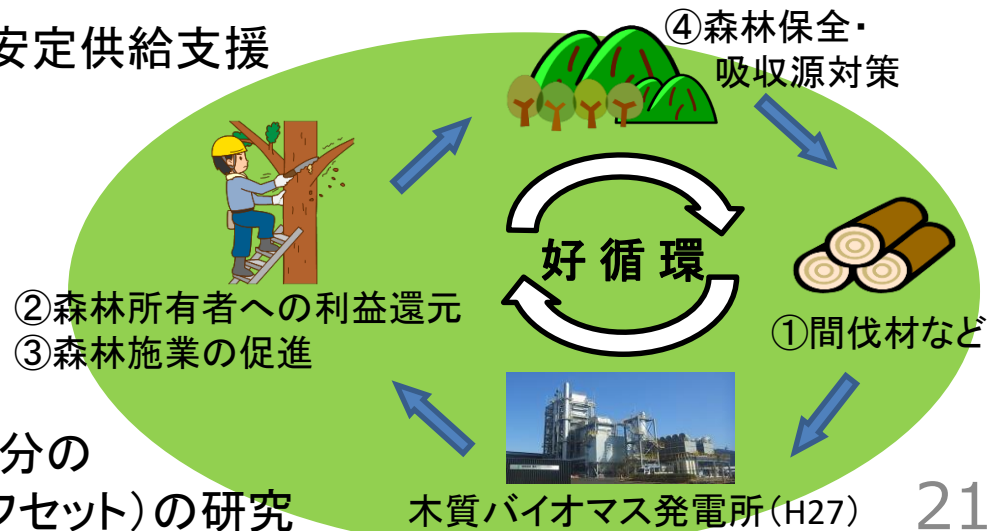


⇒今後の展開 施設の長寿命化、エネルギーセンターとしての機能強化(更新時)

未利用系木質バイオマス活用によるCO2吸収源対策（H27～）

◆木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援
（農業林業振興課）

- ①間伐材等の安定供給
- ②森林所有者への利益還元
- ③森林施業の促進
- ④森林保全、CO2吸収量増大



⇒今後の展開 森林経営によるCO2吸収分のクレジット化(カーボンオフセット)の研究

木質バイオマス発電所(H27)

2050年脱炭素社会の実現に向けて

大野市の取り組み（令和3年度の新たな取り組み）①

普及啓発（脱炭素な**エコライフ**へ）

◆ゼロカーボン推進事業（環境・水循環課） 【9月～1月】

①笑って学ぶ！Eco落語

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、環境問題について考える



【対象】中学生・
公民館（高齢者）

②楽しく学ぶ！Eco紙芝居

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・
児童館

③知れば納得！Ecoリーフレット&パネル展示

家庭でできるCO2排出量削減の取組をまとめたリーフレットやパネルを作成。経費削減や健康増進効果も合わせて紹介

【対象】市民全般

④頼って安心！結のEco協賛店

省エネ家電や太陽光発電設備、エコ住宅などを取り扱う市内に事業者を募集し、Ecoリーフレット等で紹介。



【対象】市内事業者
（家電・工務店）

⑤遊んで学ぼう！Eco遊園地

人力発電で動く乗り物、エコドライブシミュレータを設置、来場者にアンケート&パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。VIO開催

【対象】市民全般
（子育て層）

2050年脱炭素社会の実現に向けて

大野市の取り組み（令和3年度の新たな取り組み）②

脱炭素人材の育成



全庁的な取り組み

- ・事務事業でできることづくり
- ・新たな施策の検討

庁内PT結成
(政策推進課)

関係事業者、金融機関、
市民、市ほか



地域中核人材の育成

再生可能エネルギー促進、
脱炭素化に向けた

- ・ネットワーク構築
- ・相互学習

地域人材育成・連携

公共施設の脱炭素化

- ◆設備老朽化・多量CO₂排出施設を優先
(温浴施設、図書館、公民館など)

⇒今後の展開

大野市公共施設等総合管理計画や防災計画など関係計画と整合を図りつつ、脱炭素化計画(年次計画)を作成する



2050年脱炭素社会の実現に向けて

大野市の取り組み（令和3年度の新たな取り組み）③

ごみの減量化

◆生分解性マルチの利用促進（農業林業振興課）



化石燃料由来の農業用マルチの廃棄作業削減

→人口減少、高齢化を見据えた
農作業の省力化

→脱プラスチック

同時解決!!

◆フードドライブの実施（「県民せいきょう」との連携）

【6月・12月】



家庭や職場で余っている食べきれない食品を持ち寄り、
必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

→生活困窮者や子ども食堂への食料支援

→食品ロス削減

同時解決!!